

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>9番 山田 成宣</p>	<p>1 子育て施策について</p> <p>2 定住化対策について</p>	<p>箱根町として、子どもを虐待から守る施策をどのように進めておられるのか、現状と今後の課題等について町長のご所見を伺います。</p> <p>日本の人口は前回の国勢調査で減少局面に入ったことが改めて確認され、各自治体においては地方創生の掛け声のもと、人口確保のための施策を積極的に実行している状況と認識しております。</p> <p>本町においても町長が就任以降、一貫して「子育てするなら箱根町」を合言葉に、非常に特徴のある手厚い施策を展開してきていることは周知のとおりであります。</p> <p>しかしながら、冒頭で申し述べましたとおり、全国各地で人口減少対策、特に若年世代の確保に向けて競い合っている状況の中では、他の市町村との差も無くなってきてしまっているのではないかと危惧しているところです。</p> <p>本町の将来を見据えた場合、町の活力維持、活性化のためには、やはり子育て世代への支援を中心とした定住化施策の更なる充実が必要ではないかと考えるのですが、町の方針を伺います。</p>
<p>12番 石川 栄</p>	<p>1 プラスチックごみによる海洋汚染問題に対する町の取り組みについて</p>	<p>経済発展とともに家庭用品等にもプラスチック製品が溢れ地球環境も激変している。台風や大雨の発生により、捨てられたプラごみが川から海へと流れ込んでいる。</p> <p>環境先進観光地を標榜する当町としてもプラスチックごみにより深刻化する海洋</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(石川 栄)	<p>2 熱海市及び箱根町間における一般廃棄物処理に関する緊急時相互援助協定の締結について</p>	<p>汚染を抑制、防止すべく取り組みが必要であると考え、次の3点について伺う。</p> <p>①町のプラスチックごみの回収及び処理の状況</p> <p>②「かながわプラごみゼロ宣言」への町の関わり方</p> <p>③プラスチックごみによる海洋汚染の抑制・防止に関する町としての考え方</p> <p>①締結に至った経緯について</p> <p>②令和6年にごみ処理広域化を目標としている当町が県を越えた熱海市となぜ締結するのか</p> <p>③緊急時発生の際、当町としての受入体制について</p>
4番 川口 延明	<p>1 高齢者の免許返納と移動を支える支援策について</p>	<p>我が国では、急速に高齢化が進み、日本の総人口に占める割合が本年1月1日現在で28.2%となっております。当町においても高齢化率が36.8%となり国の平均を大きく上回り、3人に1人以上が該当する状況となっております。そのような中、今年度は高齢者の交通事故が社会問題となり、テレビ、新聞で大きく報道されており私どもも見過ごすことのできない課題となりました。</p> <p>そうした中、高齢者の運転免許の返納が取り上げられています。警察や行政でも積極的な呼びかけをしており、警察庁の発表によると、2018年に運転免許を自主返納したのは、およそ42.1万人（75歳以上が29.3万人）と、2年連続で40万人を超えました。返納者数が増加しているだけでなく、免許保有人口に対する返納率も上昇していて、免許返納は少しずつ浸透しているようです。しかし、浸</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(川口延明)		<p>透してきているとはいっても、まだ 75 歳以上免許保有者の 5%と低い水準にあります。</p> <p>これを推進するため高齢者運転免許自主返納サポート協議会が多くの企業の協力を得て運転免許返納者への手助けとなるよう活動しています。</p> <p>箱根町においても小田原警察署の音頭取りにより 2 月 26 日に小田急や箱根登山、伊豆箱根鉄道さらに箱根温泉旅館ホテル協同組合加盟事業所が参加し、サポート協議会への合同加盟式 IN HAKONE が行われました。</p> <p>しかしながら、箱根町は山間地であり、生活のための買い物、通院などで町外へ出向くことで車が必要不可欠の状況であります。それらにより運転免許証を返納することは都会部とは比較できないハンディがあり、実際返納は進んでいないようです。</p> <p>真鶴町では、返納した町民に対しバス・タクシーの利用券を配布しているとのこと。</p> <p>そこで町では</p> <p>①今後高齢者への運転免許返納にどのように対応されるのか伺います。</p> <p>②返納による下記の課題に対する考え方について伺います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>*病院や買い物に行けなくなる。</li> <li>*家族の負担が増す</li> <li>*本人の判断能力の衰えに対するフォロー</li> </ul> <p>③高齢者にとって車がなくても生活がしやすい環境づくりへ今後どのように取り組むのか伺います。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(川口延明)	2 今後の観光施策について	<p>東京オリンピックを10ヶ月後に控え、箱根町内でもホテルなどの宿泊施設建設が積極的に進められております。現在はインバウンドが好調で、既存の宿泊施設も含めて多くの観光客で賑わっています。</p> <p>そうした中、箱根DMOにより、今後の観光客数は減少していくのではないかとの調査結果もあります。</p> <p>さらに、オリンピック終了後の訪日客の状況がどのように変化するか見込みない部分もあります。</p> <p>そこで、2点について伺います。</p> <p>①今後の誘客に対する方針はどのようなことが基点となるのかお示しいただきたい。</p> <p>②現在大涌谷への立ち入りができなく、いわゆるゴールデンルートが機能していない現在、交通網の再整備、企業間の壁を越えた箱根町内フリーパスの構築などの考えはあるのか。</p>
8番 川端 祥介	<p>1 箱根町のAI（人工知能）等の見解と考え方について</p> <p>2 小学校プログラミング教育の対応について</p>	<p>①本町のAI活用に関する見解と、導入への現状と課題、将来への取組み指針と考え方をお伺いいたします。</p> <p>②IT分野の新技术、RPA(ロボティック・プロセス・オートメーション)の検討結果や、チャットボット（自治体のHPと、ラインで市民の問い合わせに無料回答する）に関する考え方をお伺いいたします。</p> <p>来年度から始まる、小学校で必修となるプログラミング教育について、教育内容や教員の指導方針などについてお伺いいたします。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
<p>7番 村野由紀子</p>	<p>1 提供表示式・救急キット FA について</p> <p>2 認知症の方や家族を応援するまちづくりについて</p>	<p>提供表示式・救急キット FA (通称 FA) は、有事の際に助け合う街づくりを目的とした唯一の救急キットで、厚生労働省医薬食品局監視指導課及び総務省消防庁救急企画室から意見・指導を受け製品化されたものです。中には、人工呼吸に必要なフェイスシールドや消毒液、手袋など、衛生管理に配慮した上質なアイテムが入っています。FA を店舗や施設等に設置し、FA ステッカーを貼ることで FA の所在を伝えることができ、災害等の有事の際に、必要な人に迅速に救急キットを提供することが可能になります。非営利型一般社団法人 FA 普及協会は、FA の更なる普及を推進し、人と人の心を繋げ、より良い世界を創る FA プロジェクトのために発足した組織ですが、近年、自然災害の発生の懸念も高まっていることから、これらのことに備える意識向上を図るためにも FA 導入の拡大と救急キットの所在を伝える FA ステッカーの意味を広く周知したいとされています。</p> <p>なお、FA を営業車両等に搭載することは、企業のイメージアップになるだけでなく、ドライバーの心も安全・安心にシフトし、交通事故が減少した例も多数報告されているそうです。公共施設や公用車などへ設置することについて、町の考えを伺います。</p> <p>本町は地域包括支援センターをはじめ、医療機関等とも連携を密にしながら相談体制の強化や医療と介護の推進を図っています。</p> <p>また、地域で支え合えるよう認知症サポーターの養成も推進しています。これか</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(村野由紀子)		らの認知症サポーターの取組みと認知症の方や家族を応援するまちづくりについてお伺いします。
3 番 勝俣 泰彦	1 金時公園の駐車場増設について  2 金時山や金時公園等の PR について	<p>箱根町の調査結果によると、金時山の登山客は増加傾向にあり、登山客の約6割が「金時神社・矢倉沢峠コース」を占めている状況であるとの事であります。繁忙期は民間駐車場が満車となり、神社入り口付近の旧国道敷両側に駐車している状況であり、金時公園利用者が駐車できない状況となっています。このような状況から、金時登山客及び金時公園利用者駐車場の今後の増設計画等について町の見解を伺います。</p> <p>金時登山道においては、金太郎伝説等に纏わる名所等があり、これらの説明板の一部が不明あるいは破損の状況となっており、案内板が掲出されていない名所があるのではないかと考えております。これらの状況から、案内板及び説明板等の今後の整備計画について町の見解を伺います。</p>
1 番 山田 和江	1 大涌谷対策について	<p>噴火警戒レベルが2に引き上げられ大涌谷への立ち入りが規制されていることに対して、以下の点について質問します。</p> <p>①レベル1に引き下げられるには地震回数等の基準が設定されているが、この根拠について伺う。</p> <p>②住民や事業者からは「いつまでこの状態が続くのか」との不安の声が寄せられている。この声に町はどのように対応されるのか。</p>

質問者氏名	質問事項	質問要旨
(山田和江)	<p>2 ごみ処理広域化について</p>	<p>③大涌谷からのガスの影響と思われる樹木の立ち枯れが県道沿いにも広がっているが、この調査と対策について伺う。</p> <p>④町観光課が調査した、5、6月の業種別観光客数等の対前年比調査結果について、噴火警戒レベル2へ引き上げられたことに伴う影響をどのように受け止めているか。また融資の実際の件数、額等についても伺う。</p> <p>⑤4年前の時にも指摘されていたが、湖尻地区ではロープウェイが止まってしまうと観光客数に大きな影響を受ける。このことに対して何らかの対策が求められていると考えるが、町長としてどのように捉えているか伺う。</p> <p>ごみ処理広域化推進事業が進められ、1月に広域化施設整備等基本調査報告書が示された。このことに対して以下の点について質問する。</p> <p>①中継施設について</p> <p>②ごみの運搬ルートについて環境への負荷を考慮しているのか。</p> <p>③真鶴・湯河原町の住民が箱根町のごみの受入れを知っているのか。</p> <p>④広域化に伴う予算はどの位と見込んでいるのか。</p> <p>⑤事業系ごみの減量化と資源化について</p>